

# 目次

はじめに	1
日本農業検定とは	2

## 1. 農業全般分野 農業全般の基礎知識

### 人間生活と農業

農耕の始まりと広がり	6
縄文時代の日本の農耕	8

### 世界の農業と食料情勢

世界の人口増加と農耕地面積の推移	10
世界の食料需給	12
食料生産の不安定要素の増大	14

### 日本の農業と食料を取り巻く現状

農業を支える人達の現状と支援策	16
農地と耕作放棄地の状況	18
日本は世界屈指の食料輸入国	20
先進国で最低の食料自給率	21

### 国内農業生産の動向

農業総産出額と生産農業所得	22
米—生産と消費の動向	23
野菜—生産と消費の動向	24
果実—生産と消費の動向	25
花き—生産と需要の動向	26
畜産—飼養動向と生産基盤の課題	27

### 農業・農村の多面的機能

農業・農村の多面的機能と支援策	28
保健休養機能の深化	30
都市農業の多様な役割と支援策	32

### これからの農業革新の方向

水田の活用と飼料用米の増産	34
進展する農業技術	36
農業の6次産業化・農商工連携	38

地域未利用資源の活用へ	40
-------------	----

【コラム】経済連携協定の不透明な進路	42
--------------------	----

## 2. 環境分野 環境問題の基礎知識

### 人間生活の3大課題

人口増加と環境問題	44
-----------	----

### 地球規模の環境問題

地球温暖化と温室効果ガスの削減	45
温暖化による影響	46
オゾン層の破壊	47
大気汚染の広がり	48
世界の森林破壊	49
世界の海面水位の上昇	50
生物多様性の保全	51
フードマイレージ、バーチャルウォーター	52

### 農業と環境の保全と整備

環境保全型農業への取り組み	53
鳥獣被害の実態と対策	54
農業分野の「気候変動適応計画」	55
世界農業遺産	56
日本農業遺産	57
【コラム】放射能汚染からの農業再生	58

## 3. 食分野 食と健康・食文化の基礎知識

### 日本人と食の実態

食の変化と肥満の増加	60
------------	----

### 日本型食生活と健康

主食としての米	61
日本の多彩な食材を主菜・副菜に活用	62
食が体をつくる	63
PFCバランスを保つ	64

健康を支える腸内細菌と食物繊維	65
食生活改善の目安が「食生活指針」	66
<b>食品の安全・安心</b>	
食品添加物について	67
保健機能食品制度について	68
食品の安全に関する法	69
食品流通改革	70
食中毒の種類と発生傾向およびその対策	71
<b>和食と伝統的食文化</b>	
日本の食文化=和食の基本	72
和食の原型と発展史	74
ユネスコ無形文化遺産認定「和食」の特徴	76
だしと発酵調味料	77
和食調理の基本	78
<b>食育のすすめ</b>	
食育とは何か	79
【コラム】お百姓さんになる日	80

## 4. 栽培分野 (1)

<b>植物の基本的生理作用</b>	
植物の基本生理と必須利用資源	82
光合成作用と呼吸作用	84
気孔の役割と蒸散の効果	86
<b>栽培作物の成長と繁殖</b>	
作物の成長に係わる2組の性質	88
種子の発芽と環境条件	90
栄養器官の成長と環境条件	92
栄養成長期の環境適応性	94
生殖成長期の環境適応戦略	96
作物の種子繁殖と栄養繁殖	98
野菜の生育段階と収穫時期	100

## 栽培環境とその管理

作物を取り巻く環境要素	102
気候の利用と気象災害の防止	104
栽培環境としての土壌の役割	106
地力のある良い土壌とは	108
土壌診断の基本指標と簡易診断法	110
施肥と肥料養分の役割	112
肥料の区分と成分保証	114
これからの病虫害防除	116
環境保全型の農薬選び	118
化学的防除（農薬の使い方）	120
物理的防除	122
生物的防除	124
耕種的防除	126
総合的有害生物管理	128

## 5. 栽培分野 (2) おもな作物の栽培の基本

イネ〔穀類〕	130
サツマイモ〔イモ類〕	134
ジャガイモ〔イモ類〕	136
ダイコン〔根菜類〕	138
ニンジン〔根菜類〕	140
キャベツ〔葉茎菜類〕	142
タマネギ〔葉茎菜類〕	144
ホウレンソウ〔葉茎菜類〕	146
キュウリ〔果菜類〕	148
トマト〔果菜類〕	150
ナス〔果菜類〕	152
果樹全般〔果実類〕	154